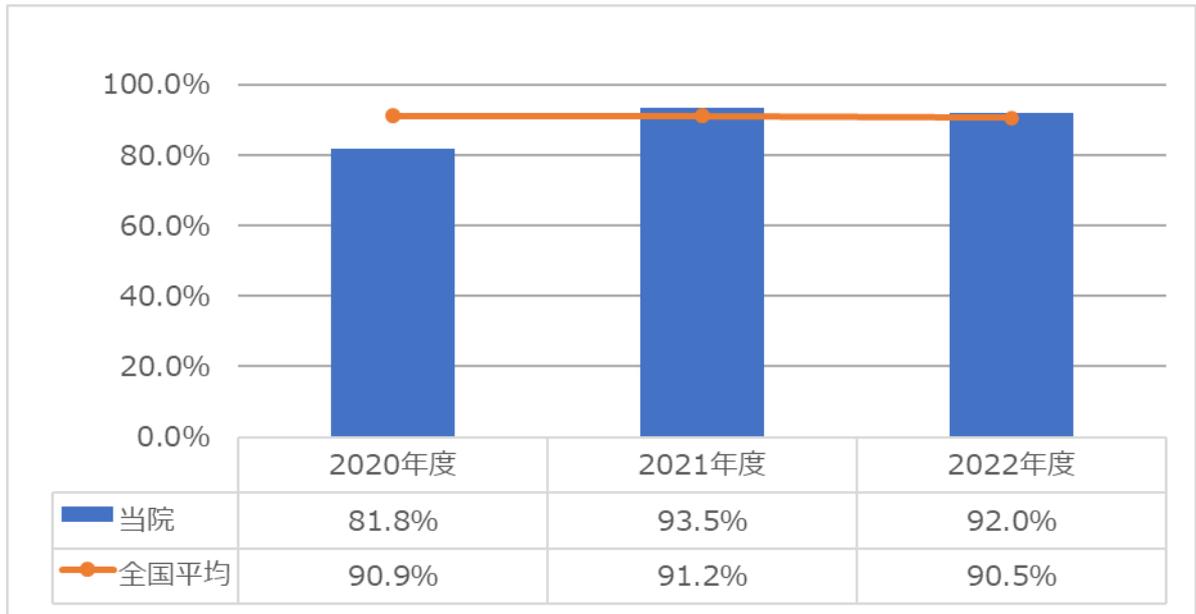


指標 1 2 大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率



<定義>

分子	:	分母のうち、3日以内にリハビリを実施した症例
分母	:	大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例
期間	:	2020年度～2022年度（1年毎に集計）
対象	:	上記期間の退院患者
値の解釈	:	高い方が望ましい

<解説>

大腿骨頸部骨折の治療においては、機能を回復するために早期にリハビリテーションを始めることが重要です。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院QIP事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院のQIP参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html>（QIPにおける計測結果）